

実験しました！ 車の中はどのくらい危険なの？

START



「笑顔でスタート！」

5分後



「まだ余裕があります」

10分後



「かなり暑くなってきました！」

30分後



「ここでギブアップ！」

実験結果報告！

社員が自ら体感実験

気温 30.2°C、アニコム社員自らがエアコンなしの車内で30分間の実験をしてみました！
※絶対に真似しないでください。

開始直後から急上昇

実験開始から10分後、あっという間に車内の温度は41°C以上に。
30分後には、車内の温度は50°C近くにまで上昇しました。風通しも悪く非常に息苦しく感じました。

これがワンちゃんなら・・・

これが常時毛皮を着こんだワンちゃんだったら？と考えるとゾッとしました。
大切なワンちゃんを守るために、たとえ短時間でもワンちゃんだけを車内に放置することは、絶対に避けましょう！！

Q&A

Q 車の窓を少し開けておけば、風が入るので大丈夫ですか？

A 窓を開けていても、室温を下げる効果はほとんどありませんので、危険です。

Q 車内のクーラーをつけたままにしておけば、大丈夫ですか？

A バッテリーが上がったり故障した場合、エアコンが止まってしまう可能性が高いので避けてください。



夏の大敵「熱中症」

油断大敵！

とくに車内は、大変危険であることがわかりいただけましたか？
これからの時期、熱中症にかかるリスクは気温とともに高まります。
飼い主さまもワンちゃんも、こまめな水分補給や体の冷却を心掛けましょう。
もし、ワンちゃんがいつもよりも息を“はあはあ”していたり、ぐったりしたり、
けいれんを起こしていたら、熱中症の可能性あります！
すぐに全身に水をかけるなど、体温を下げる応急処置をしながら、動物病院に
連れていきましょう！